

令和4年度学校関係者評価報告書

阪南大学高等学校

令和4年度の学校自己評価に基づき、学校関係者評価委員の方より評価及び提言をいただきましたのでご報告いたします。

学校関係者評価委員については、同窓会会長・PTA 会長・卒業生代表・学園評議員・高校事務長の5名の方で構成されています。

学校関係者評価委員からの評価と提言

① 学習指導・進路指導

- ICT 教育について、タブレット端末の導入3年目となり、ICT教材を活用しながらの授業展開が定着してきていると思われる。今後はよりICT教育を発展させるため、もう一つ高い段階を目指すタイミングであり、効果的な使用方法の研究・推進に取り組んでいただきたいと期待の声をいただいた。
- 家庭学習への満足度が生徒・保護者・教職員ともに低い評価となっており、放課後学習のための環境を充実させる必要がある。コースにより満足度が異なっており、生徒一人一人が伸びるよう指導していただいているとの意見もあった。
- 放課後学習の一環として、2年生1年生に大学等のオープンキャンパス参加を促進し、学外での学習環境を充実させることも必要ではないかと意見があった。

② 生徒指導・人権指導・保健指導

- 校則の厳守について、生徒の評価は高いが、保護者・教職員の評価が低い。新入生説明会、保護者会等できめ細かな周知が必要であり、保護者と密にコミュニケーションを取ることが重要である。また、時代に即した校則か改めて検討していく余地はあるのではないかと意見があった。
- 心身の健康・悩みについて、生徒・保護者・教職員ともに低い評価となっている。心身が健康な高校生活を送れるようカウンセラーの設置を継続して検討していただきたい。相談を受ける側である教職員の心身の健康についても考え、改善に向けて取り組むべきであるとの意見があった。

③ 行事・クラブ活動

- 校外学習・修学旅行・学園祭は実施することができたが、コロナ禍で制限がかかっていたこともあり満足度が低くなっている。コロナ禍でも可能な限り、制限の少ない行事が開催できるよう工夫していただきたい。コロナ禍が終息へ向かい通常どおり行事が行えるようになれば、満足度も上がっていくのではないかと、今後に期待したいとの意見があった。
- クラブ活動について、クラブが盛んであり、例年一定満足の評価を得ている。今後さらに満足度を上げるためには、クラブ加入率が増加するよう努める必要がある。また、クラブの新設を求める声もあるが、既存クラブの活動内容を充実させることが重要であり、今後も継続して高い評価を得られるよう取り組んでいただきたいと期待の声をいただいた。

④ 学校運営・施設

- 学校施設について、生徒の安全に配慮した整備が施されており、美観、衛生に関しても、昨年同様に高い評価を得ている。今後は施設の老朽化に伴う修繕等を行いながら、環境を維持していただきたい。

以上